

■会議結果報告書■

|       |  |
|-------|--|
| 会議名称  | 第8回札幌市子どもの権利委員会                              |
| 日時・会場 | 平成22年8月23日（月）16：30～18：30 S T V北二条ビル6階1～3号会議室 |
| 出席委員  | 9人出席   |
| 次回開催  | 平成22年9月13日開催予定                               |

| 議題                         | 概要等   |
|----------------------------|---|
| 1. 議題<br>(1) 子どもとの意見交換について | <p>○資料3に基づき子どもとの意見交換について事務局から報告後、同行した各委員から報告<br/>(委員からの報告)</p> <p>&lt;北海道朝鮮初中高級学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・差別やいじめを受けた時に、アシストセンターに相談できるか聞いたところ、教師にも言うことができず、保護者に言うのが精いっぱい聞いた。相談にまで声を上げられない子どもの思いをどう酌み上げていくことができるか。</li> <li>・アシストセンターを充実させる一方で、アンケートの結果からも、障がいや民族による差別が多いという結果があり、何か打ち出せないか。</li> </ul> <p>&lt;北九条小学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解力や子どもの権利についての関心が高い。小学校5年生以上であれば、権利についてしっかりと教えていけば、受けとる力は十分にあるという印象。</li> <li>・権利やマナー、社会性のことを言っても、大人の方がだめではないかという意見が多かった。意識の高い市民性を大人が示すことができれば、子どももついてくる。</li> <li>・権利侵害について、家庭では意見を言うことができるが、学校など多くの人の前では意見を言いにくい環境があるという意見もあり、大人が風通しのよい環境を意識的につくる必要がある。</li> </ul> <p>&lt;平岸高校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を言うことができ、それが実現される、聞いてもらえることが大切と感じている生徒が多かった。</li> <li>・平岸高校の三者会議のような場所を多く設けて子どもの意見を尊重することを考えていければよい。</li> <li>・三者会議という意見を交わす場があって初めて相手の意見を聞くことができる。また、自分たちが意見を言うためには各クラスで話し合ったことをまとめて、教師や保護者に対し、意見を主張し、聞いたりと繰り返しの練習となり大変有意義であると感じたし、生徒もそれを自覚している。</li> <li>・まちづくりについて聞いたところ、外で遊べる環境が少ないという意見も出ており、安心していられる居場所をつくることも大切であると考えた。</li> <li>・意見交換後、生徒たちは、子どもの権利について今まで知らなかったという声が多く、パンフレットはもらっているが見たことがないという反応であった。今回の機会により、子ども権利が大切であるということを少しは理解することができ、成長できたのではないか。</li> </ul> <p>&lt;子ども議員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所については、友だちと過ごすにせよ、ひとりで静かに過ごすにせよ、自分の好きなことをできるということが、安心して過ごせる居場所をつくるには大事である。</li> <li>・子どもの権利の侵害については、虐待や体罰を受けないことは絶対の基本として感じており、それに加えて自分の意見が尊重されることも大事であると思っているようだ。いじめをなくすためには、みんなで考えなければならないので、意見を言える場所をつくるのが大事である。</li> <li>・子どもの参加については、きっかけづくりが大切であり、参加することで友だちも増え、自分の居場所づくりにも発展するという意見が出ていた。</li> </ul> |

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
|                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報については、アニメや漫画など親しみやすいものであれば、子どもは好きだという具体的な意見が出ていた。</li> </ul>  |
| <p>(2) 子どもの権利に関する推進計画の体系及び内容について</p> | <p>○資料4、5、6に基づき事務局から説明<br/>(資料4：意見交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標に子どもの意見表明という表現が入ったが、【想定される施策・事業】では「市政における」と飛躍しており、基本施策にも意見表明ということが入っていない。</li> <li>・推進計画の柱は「意見表明・参加」と「居場所」であり、意見表明・参加は広報・普及にも関係してくるのであり、資料4の体系の矢印を増やしてよいのではないか。</li> <li>・子ども議員との意見交換では、自分たちが意見表明したことが通ることよりも、自分たちの意見を聞いてほしいことの方が大切であるようだった。場所によっても意見を言えるかどうかの環境は違うため、雰囲気は大事である。</li> <li>・具体的な施策や事業は広報普及しかないかもしれないが、自立した若者をつくっていく地域や、土壌をつくり上げるためにも、意見表明を改めて最初に盛り込むことが必要ではないか。権利侵害であれば、他の審議会等でも取り上げられており、子どもの権利委員会として見せ方の工夫も必要ではないか。</li> <li>・前回からの議論で子どもの参加に子ども意見表明を加えた経緯があり、さらにとりたてて意見表明を強調することで、子どもの権利の全体像が意見表明のみに牽引されすぎるのではないか。権利侵害からの救済ということも大きな柱である。</li> <li>・基本目標3の権利侵害からの救済について、実際に権利侵害を受けたと思った時に、困っていると一言言えるかどうかが大変である。大人が気付くことも大事だが、子どもが自分で言えることが大変であるため、やはり意見表明という言葉は前面に出すべきである。</li> </ul> <p>⇒基本目標1「子どもの意見表明・参加」の基本施策に「意見表明をしやすい雰囲気づくり」を加えることで一致。<br/>(事務局：具体的な施策が啓発中心になるがよいか → 基本目標4と重なるが、まずは啓発からでよい。)</p> <p>(資料5：意見交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標1基本施策1について：了解</li> <li>・基本目標1基本施策2について：了解</li> <li>・基本目標2基本施策1について：了解</li> <li>・基本目標2基本施策2について</li> <li>・答申の際は資料5の【参考】委員会での主な意見や子どもとの意見交換はでの主な意見は掲載されるのか。<br/>(事務局：今回は議論が分かりやすいように掲載したが、委員会意見が答申という形でまとまるため、ここの部分がそのまま答申に載るわけではない。ただ、子どもとの意見交換については、子ども未来プランでも別の項目に載せたこともあり、別途検討したい。)</li> <li>・6ページと8ページの委員会意見にNPO団体等とのネットワーク会議、連絡会議のようなものがないか意見しているが、計画の文書の中にはっきりと見えていないので、もう少し詳しく連絡会議を設けるといふ文言を入れてもらいたい。<br/>(事務局：テーマにもよるが、例えば安心・安全という部分で、行政や市民だけではなく、具体的な活動をしている方々との連携のような表現は可能だと思う。ただ、具体的に何か組織をつくることまでは庁内の調整が必要となり、今の趣旨を反映した形で整理したい。)</li> <li>・7ページの「活動を通して人間関係をつくり合える環境づくり」のところに、3ページにある各種ボランティアへの参加や、職業体験を通してたくさんの友だちをつくり、自分の居場所をつくっていくことがあるのではないか。子ども議員との意見交換を行いそのように感じ、そういった機会を少しずつ作っていかればよい。</li> <li>・基本目標3基本施策1について：了解</li> <li>・基本目標3基本施策2について：了解</li> <li>・基本目標4基本施策1について：了解</li> </ul> |

|        |  |
|--------|--|
|        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標4基本施策2について：了解<br/>(資料6：意見交換)</li> <li>・目標値に達しなかった場合、どうなるのか。<br/>(事務局：達成できない場合にペナルティが課せられるということではないが、達成できたかどうかという部分で評価される。成果指標をどのように把握するかは検討していきたい。また把握した段階で権利委員会で改めて議論していただくことになると考えられる。)</li> <li>・平成21年度の大人の条例の認知度が51%で、5年後に60%というのは堅実すぎるのではないか。5年あるので、80~100%あってもよいのではないか。</li> <li>・基本目標の中で意見表明という言葉を大切にするという議論もあり、成果指標にも子どもの意見表明がどのように進んだか、というものがあってもよいのではないか。<br/>(事務局：指標としては施策として具体的に目に見えるような形がないと、どのように成果指標を上げていくか検証するときに、理解しづらい面がある。)</li> </ul> <p><b>(基本理念について)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回基本理念について議論を行いたい。</li> </ul> |
| 2. その他 | <p>○次回、次々回の日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第9回については、9/13か9/14、第10回については、9/27頃で行いたいので後日調整させていただく。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>  |